

令和2年度事業報告

(1) 情報の収集・提供業務

<事業内容>

- ① 市民公益活動団体に関する情報の収集及び提供
 - ア 機関誌の発行・配布（年4回以上）及びバックナンバーのホームページ公開
 - イ 市民公益活動団体及び関係機関が発行する機関紙の収集及び管理
 - ウ ホームページ、フェイスブックなどを活用した情報発信及びそれらの管理運用
 - エ 市民公益活動団体の情報ファイルの作成・整理
 - オ その他、人材の紹介、助成金等活動資金、法務、財務会計、税務その他市民公益活動団体の運営のノウハウに関する情報の収集及び提供
- ② 情報掲示板、関係図書管理（各団体のチラシ、ポスター等の提示物の受付等）
- ③ 市民公益活動団体、ボランティア等に関する情報提供、案内
- ④ 報道機関へのイベント情報提供
 - ア 長野市民新聞「市民とNPOのひろば」への取材記事、イベント情報提供
 - イ FMぜんこうじ「長野市広報ふれあいガイド」へのNPO団体出演のコーディネート
- ⑤ 市内各種団体の取材、ヒアリング等による実態把握

<事業目標>

- ・ 長野市内のNPO情報を収集、整理、蓄積、発信
- ・ 情報の収集・発信に力を入れることで団体間の情報共有の充実を図る
- ・ ホームページを活用した情報発信の充実
- ・ SNS（フェイスブック）を活用した情報の受発信を充実させ集客を図る
- ・ センターとしての相談・コーディネート実績を重ね、センター周知につなげる

<事業実績>

- ① 取材訪問、窓口対応、マスコミなどを通し、あらゆる団体情報を収集、提供
 - ア センター機関誌「まんまる」年4回発行（4月／7月／10月／1月）
発行部数各号 1,700部／配布件数 1,918件 平均480件
※ホームページでバックナンバーを公開
 - イ 関係機関が発行する機関紙の受付件数 256件（2020/4～2021/3）
 - ウ ホームページ・フェイスブックについては随時更新
※ホームページを活用しての情報発信件数 400件
／アクセス件数 66,219件（2020/4～2021/3）
※フェイスブックを利用しての情報発信件数 720件
／アクセス件数 90,802件（2020/4～2021/3）
 - エ 市民公益活動団体の情報ファイルの作成・整理

オ 助成金情報の提供

ホームページを活用しての情報発信件数 89 件 (2020/4~2021/3)

② 情報掲示板、関係図書の管理

ア チラシ、広報紙の受付件数 チラシ 272 件 (種類) 【前年比 42.0%】

イ 図書貸出件数 7 件

③ 市民公益活動団体、ボランティア等に関する情報提供、案内

窓口情報提供件数 1,913 件 / 電話・メール情報提供件数 2,970 件 / 訪問情報提供件数 250 件

【合計 5,149 件 (前年比 115.0%)】

④ 報道機関へのイベント情報提供

ア 市民新聞「市民とNPOのひろば」へのイベント取材記事、イベント情報提供 (毎月第1火曜日掲載) 及び市民新聞「市民とNPOのひろば」編集委員会に毎月参加

【まんまる交差点 取材記事】

【イベント情報提供数】

4月 鬼Tで鬼無里を応援	18
5月 地域まるごとキャンパス	16
6月 NPO法人にっこりひろば	18
7月 津野復光隊	17
8月 津野神楽保存会	22
9月 夏休み自由研究こうりやくダンジョン×NPO	22
10月 NPO法人さとやまネット信州	24
11月 NPOカフェまんまる「ミドルの居場所」	22
12月 NPO法人ライフデザインセンター	23
2月 信州なでしこ隊	27
3月 エシカル消費・フェアトレード交流会	28

イ FMぜんこうじ「長野市広報ふれ愛ガイド」へのNPO団体出演コーディネート

【出演団体】 (出演依頼 / 日程調整 / 内容の打合せ等)

4月 / MHOKエムホック

10月 / 回る回るハウス実行委員会

5月 / おっきいて

11月 / にっこりひろば

6月 / 多文化共生センター

12月 / 松代復興応援実行委員会

7月 / ゆる〜いおっさんの会

1月 / ながの子ども虐待防止オレンジリボン

8月 / さとやまネット信州

たすきリレー実行委員会

9月 / ワカホーム

2月 / ながの電気クラブ

3月 / 信州なでしこ隊

⑤ 市内各種団体の取材、ヒアリング等による実態把握

訪問件数 118 件 (前年比 95.9%)

市内各種団体にはイベント取材等に合わせて訪問、住民自治協議会へのヒアリングも実施

NPOカフェ まんまる



市民協働サポートセンターホームページ



市民協働サポートセンターFacebook



市民協働サポートセンターYouTube 「しみかつ情報局」



市民協働サポートセンターInstagram「npocafe_manmaru」



チラシ閲覧・配架・活動掲示コーナー
「スクランブルひろば」



■長野市民新聞「市民とNPOのひろば」
毎月第一火曜日 年12回掲載



春号：配布 475件

特集 7月のレジ袋有料化に向けて



夏号：配布 479件

特集 「終活」って必要？いつから始める？



秋号：配布 486件

特集 「働き方が変わると生き方も変わる?!」



冬号：配布 478件

特集 「地域おこし協力隊って何してる人？」

<評価と課題>

情報の収集・提供業務では、これまでと同様にITと紙ベースを活用しつつ、より効果的な情報提供について検討、インスタグラムの立ち上げなども試みた。

ITでは、ホームページやフェイスブック等の媒体を活用し、新鮮な情報の発信を継続。ホームページへのアクセス件数は前年比130.3%の66,219件（前年50,814件）、フェイスブックページへの年間アクセス件数は90,802件（昨年140,638件）、前年比64.6%となった。ホームページのアクセス数が増えたことについては、年度途中からFacebookページとの連動方法を変えたことで、Facebookからホームページへアクセスした数によるものと思われる。フェイスブックについては、減少が著しく、発信ツールとしての限界もあるのではないかと。また、一因としては昨年度の災害時にボランティア情報などへのアクセスが集中したこともありかなりの増であったが、今年度は新型コロナウイルスの影響でイベントなどが激減、発信できる情報が極端に減少したことが原因として挙げられる。

4月当初全国的な動きの中で、長野県NPOセンターが実施したコロナ禍における活動状況のアンケートには、当センターからの発信に答えての回答も多く、関係する団体のグループ内では活発な情報交換もあった。また、もんぜんぷら座休館中に急遽立ち上げたYouTubeチャンネルによる「コロナに負けるなしみかつ情報局」（21回配信）には通算900件のアクセスがあり、休止や中止を余儀なくされた市民活動団体とのコミュニケーションツールとして効果があったのではないかと。このような報告に挙がらない効果をどのように見せていくのかは今後の課題としたい。長野県NPOセンターのホームページのリニューアルに伴って当センターホームページの記事がリアルタイムで表示されるようになったことも今後効果として期待している。

ITでの発信はしつつ、昨年に引き続き、事業の集客はできるだけピンポイントに個別でのお誘いや、メールワイズの一斉メールなど「あなたに向けた発信です」という形での広報を心がけた。

紙ベースでは、機関紙「まんまる」（年4回）、長野市民新聞「市民とNPOのひろば」誌面（年12回）を通してセンターの情報はもちろん、社会の課題やNPOの活動状況を広く発信。特に機関誌まんまるは毎号その時々々の社会の動きをとらえた特集を組んでおり、特集に関連する機関へも配布した。県内外の団体から「いつも特集を楽しみにしている」というフィードバックもあり、さらに充実した記事を企画していきたい。送付している団体から、講座などについての問い合わせ・申し込みが来ている一方で、新型コロナウイルス感染症拡大による事業中止、もんぜんぷら座スクランブルひろばの使用停止の影響で残数が多いものがあり、今後イベントなどで配布をしていく。

センターの入り口や掲示コーナーについて、入りやすく、利用しやすいように、レイアウトを変更したことで、センターの中が良く見えるようになった。しかし、コロナ禍で団体や地区の活動が停滞したこともあり、チラシなどの受け取り件数が激減、市民新聞への掲載情報集めにも苦慮した。

市内各種団体への訪問件数は、前年比95.9%。新型コロナウイルス感染拡大の影響で活動自粛となったことが要因だが、年度後半から住民自治協議会への訪問も再開している。来年度はできればセンターとあまりつながりのないNPO等に積極的に訪問し、活動状況の把握に努めたい。

**(2) 市民公益活動団体、地縁組織、住民自治協議会、企業、NPO等を対象とした民間
相互の継続的な活動支援、また、行政との協働促進業務**

<事業内容>

- ① 活動団体のネットワークの強化・拡大
 - ア 課題解決に向けた団体間の交流事業の企画・運営
 - イ 活動に係る新たな担い手の発掘
- ② 相談及び調整
 - ア 活動団体等からの各種相談受付、マネジメントに関する支援
 - イ 団体・個人のニーズに合わせたコーディネート
- ③ 団体・個人の育成
 - 各種講座の開催
 - ア 活動団体等の成長・自立につながる情報等を提供する講座
 - イ 地域内外から活動資金の調達に関する講座
 - ウ 活動団体などのコンプライアンスなどに関する講座
 - エ 情報発信（マスコミ向け、ホームページなど）に関する講座

<事業目標>

- ・ ながのまちづくり活動支援事業補助金交付団体へ、積極的な支援を行う
- ・ NPOカフェまんまる、地域まんまる、まちむら交流会など、それぞれのイベントの特徴を生かしながら、参加対象者の拡大を図り、人と人とのつながりを広げていく
- ・ 参加者のニーズに沿った講座を企画していく
- ・ 行政、地域、企業との人的ネットワークの形成

<事業実績>

- ① 活動団体のネットワークの強化・拡大
 - ア 課題解決に向けた団体間の交流事業の企画・運営
 - i <<NPOカフェまんまる・地域まんまる>>
 - コロナ感染防止対策による延期または中止イベント
 - ・ 4月29日（水）「回る回るハウス」・・・・・・・・中止
 - ・ 5月23日（土）「定年後は何をする？」・・・・・・・・8月に延期

	タイトル		参加人数
	期 日	会 場	
	企画団体		
1	台風19号災害から復興へ 語ろう！つながろう！		92
	7月5日（日）	長野市ふれあい福祉センター	
	長野市災害時支援ネットワーク		

2	定年後は何をする？		22
	8月1日(土)	もんぜんぷら座 304 会議室	
	ゆる〜いおっさんの会		
3	ケータイにねむるリサイクルのヒミツをさがせ！		38
	8月4日(火)	もんぜんぷら座 304 会議室	
	ソフトバンク(株) 直富商事(株)		
4	秘密基地で焚き火会		24
	9月12日(土)		
	NPO法人さとやまネット信州		
5	ミドルの居場所		8
	10月16日(金)	もんぜんぷら座 304 会議室	
6	地域まんまる in 川中島 「地域交通を考える」		62
	11月27日(金)	川中島町多目的ホール	
	川中島町住民自治協議会		
7	共感から寄付は生まれる！		15 内オンライン2
	12月19日(土)	市民協働サポートセンター	
8	地域まんまる with 地域おこし協力隊「地域おこし協力隊と出会って・つながって・コラボしよう」		44
	2月10日(水)	篠ノ井交流センター	
9	パレンティン DAY にチョコっと市民活動		7
	2月14日(日)	Cublue	
	Cublue		
10	ミドルの居場所		6
	3月13日(土)	もんぜんぷら座 304 会議室	
合計			318

ii 協働事業のサポート（ながの協働ねっと事業ほか）

■ながの協働ねっと理事会（実施回数 年9回／述べ人数 60人）

【主な関係団体】

- NPO法人夢空間松代のまちと心を育てる会
- NPO法人食育体験教室・コラボ
- NPO法人長野県NPOセンター

- NPO法人ながのこどもの城いきいきプロジェクト
- NPO法人ヒューマンネットながの
- NPO法人ながの電気クラブ
- NPO法人長野スポーツコミュニティクラブ東北

■忍者をふやそう大作戦（実施回数 年1回）

3月25日（木）ハート手裏剣寄付審査会 理事3、団体3、一般1 参加者計7人
2団体に寄付が決定

■長野市民新聞「市民とNPOのひろば」編集委員会（実施回数 年11回）

参加者述べ 21人

今年度も、編集委員を設けず、参加したい人が自由に参加できるように企画した

■夏休み自由研究こうりゃくダンジョン×NPO

夏休みに子どもたちがNPOと出会う機会を提供 6プログラムを提供

■Talk&Talk（会員交流会）

1月24日（日）「ウイズコロナ アフターコロナ 考えている頃なう？」

参加者19人（内オンライン10人）

《コミュニティブリッジ》

1	テーマ		参加人数
	期 日	会 場	
	コロナに悩んでいる頃なう！		5
	6月2日（火）	市民協働サポートセンター	内オンライン5
合計			5

＜参画団体＞

公益財団法人長野県長寿社会開発センター

長野市ボランティアセンター

イ 活動に係る新たな担い手の発掘

i 《まんまるサロン・発送サロン・おじさんまんまるほか》

コロナ感染防止対策による延期または中止イベント

- ・4月25日（土）おじさんまんまる・・・中止
- ・4月28日（火）ボランティアサロン・・・中止
- ・5月26日（火）ボランティアサロン・・・中止

1	テーマ		参加人数
	期 日	会 場	
	機関誌まんまる(4/1号)発送作業		8
	3月28日（土）	市民協働サポートセンター	

2	ボランティアサロン		3
	6月23日(火)	市民協働サポートセンター	
3	機関誌まんまる(7/1号)発送作業		7
	6月29日(火)	市民協働サポートセンター	
4	ボランティアサロン		6
	7月28日(火)	市民協働サポートセンター	
5	ボランティアサロン		6
	7月26日(日)	市民協働サポートセンター	
6	ボランティアサロン		2
	8月25日(火)	市民協働サポートセンター	
7	おじさんまんまる		7
	9月20日(土)	NPO法人飯綱高原よっこらしょ	
8	ボランティアサロン		2
	9月22日(火)	市民協働サポートセンター	
9	機関誌まんまる(10/1号)発送作業		5
	9月30日(水)	市民協働サポートセンター	
10	おじさんまんまる		8
	10月13日(火)	市民協働サポートセンター	
11	ボランティアサロン		9
	10月27日(火)	市民協働サポートセンター	
12	おじさんまんまる		12
	11月7日(土)	市民協働サポートセンター	
13	ボランティアサロン		2
	11月24日(火)	市民協働サポートセンター	
14	ボランティアサロン		10
	12月19日(土)	市民協働サポートセンター	
15	ボランティアサロン		7
	12月12日(土)	市民協働サポートセンター	
16	機関誌まんまる(1/1号)発送作業		8
	12月27日(日)	市民協働サポートセンター	
17	おじさんまんまる		11
	1月16日(土)	市民協働サポートセンター	
18	ボランティアサロン		2
	1月26日(水)	市民協働サポートセンター	

19	おじさんまんまる		14
	2月13日(土)	市民協働サポートセンター	
20	ファシリテーター養成講座同窓会		6
	2月18日(木)	市民協働サポートセンター	
21	ボランティアサロン		5
	2月23日(火)	市民協働サポートセンター	
22	おじさんまんまる		15
	3月28日(土)	市民協働サポートセンター	
23	ボランティアサロン		6
	3月23日(火)	市民協働サポートセンター	
24	機関誌まんまる(4/1号)発送作業		3
	3月29日(月)	市民協働サポートセンター	
合計			164

ii <<まちむら交流会>> コロナ感染防止対策により中止

まちむら交流会 in 七二会 七二会たからものさがし「竹取物語」3回シリーズ
・6月20日(土)、9月26日(土)、11月・・・全て中止

iii 地域まるごとキャンパス (ながの協働ねっと)

地域まるごとキャンパス

(実行委員会 年5回/33人参加 フィールド提案数 19団体 28件

説明会・イベントを含めた述べ参加人数 350人 プログラムに参加した学生 101人)

【主な関係団体】

- ・ NPO法人長野県NPOセンター
- ・ NPO法人ヒューマンネットながの
- ・ NPO法人みどりの市民
- ・ 社会福祉法人長野県社会福祉協議会
- ・ 北信教育事務所
- ・ 一般社団法人子育てみらいネット
- ・ ながの電気クラブ
- ・ ながの環境パートナーシップ会議
- ・ ユースリーチ

期日	内容	参加人数
4月6日(月)	実行委員会	11
4月26日(日)	新学期応援フェス	37

5月 9日(木)	学生説明会(オンライン)	11
5月 13日(月)	学生説明会(オンライン)	14
6月 16日(火)	実行委員会	9
7月 17日(金)	学生説明会(オンライン)	12
8月 27日(木)	学生説明会(オンライン)	13
8月 21日(金)	学生説明会(オンライン)	14
9月 5日(土)	学生説明会(オンライン)	1
9月 9日(水)	岡学園フィールド説明会	3
9月 16日(水)	岡学園フィールド説明会	3
9月 17日(木)	学生説明会(オンライン)	15
9月 23日(水)	岡学園フィールド説明会	3
12月 11日(金)	長野市商工労働課打合せ	3
12月 11日(金)	地球環境高校打合せ	1
12月 14日(月)	長野県立大学学生説明会	21
1月 14日(木)	地球環境高校打合せ	1
1月 21日(木)	実行委員会	7
2月 7日(日)	高大生フェス	148
2月 24日(水)	打合せ	2
3月 1日(月)	実行委員会	6
3月 5日(金)	学生説明会(オンライン)	11
3月 11日(木)	学生説明会(オンライン)	4
	延べ	350



NPO カフェまんまる「ミドルの居場所」



NPO カフェまんまる「寄付の教室®」



地域まんまるin川中島「地域交通を考える」



地域まんまる with 地域おこし協力隊



ボランティアサロン



協働ねっと Talk&Talk



地域まるごとキャンパス 学生説明会



地域まるごとキャンパス学生プログラム
キセキのみそ復活！プロジェクト

② 相談及び調整

ア 活動団体等からの各種相談受付、マネジメントに関する支援

イ 団体・個人のニーズに合わせたコーディネート

相談件数 368 件（窓口 185 件／電話等 165 件／訪問 18 件）／（前年比 147.8%）

③ 団体・個人の育成

各種講座の開催

ア 活動団体等の成長・自立につながる情報等を提供する講座

《市民活動いりぐち講座》

	日時	参加人数
1	4月27日(土)13:30~16:00 ※新型コロナウイルス感染症対策で中止	0
2	6月24日(水)18:30~21:00	1
3	9月30日(水)18:30~20:30	2
4	12月5日(木)13:30~16:00	1
5	2月24日(水)13:30~16:00	2
合計		6

《NPOステップアップ講座》

コロナ感染防止対策による延期または中止イベント

・5月23日(土)ファシリテーター養成講座①・・・8月に延期

	タイトル／内容		参加人数
	日時	会場	
	講師		
1	ファシリテーター養成講座①/会議で話し合う		15 内オンライン5
	8月27日(木)13:30~16:30	もんぜんぷら座 304 会議室	
	ファシリテーション・ラボ信州 河合 宗寛氏		
2	ファシリテーター養成講座②/チームで協働する		13 内オンライン4
	9月17日(木)13:30~16:30	もんぜんぷら座 304 会議室	
	ファシリテーション・ラボ信州 河合 宗寛氏		
3	ファシリテーター養成講座③/定期的に集う		11 内オンライン2
	10月15日(木)13:30~16:30	もんぜんぷら座 304 会議室	
	ファシリテーション・ラボ信州 河合 宗寛氏		
4	ファシリテーター養成講座④/合意形成を体験する		17 内オンライン0
	11月12日(木)13:30~16:30	もんぜんぷら座 304 会議室	
	ファシリテーション・ラボ信州 河合 宗寛氏		

5	ファシリテーター養成講座⑤/合意形成を支援する		16 内オンライン5
	12月17日(木)13:30~16:30	もんぜんぷら座 304 会議室	
	ファシリテーション・ラボ信州 河合 宗寛氏		
6	ファシリテーター養成講座⑥/“場”をデザインする		17 内オンライン5
	1月14日(木)13:30~16:30	もんぜんぷら座 304 会議室	
	ファシリテーション・ラボ信州 河合 宗寛氏		
合計			89 内オンライン 21

長野県NPOセンターとの共催講座

	タイトル/内容		参加人数
	日時	会場	
	講師		
1	SDGs 集中講座「カードゲーム 2030SDGs」		19
	10月9日(木)13:30~16:30	トイーゴ生涯学習センター	
	SDGsワークショップデザイナー 藤澤 重徳氏		
2	SDGs 集中講座「SDGs de 地方創生」		30
	10月9日(木)18:30~21:00	トイーゴ生涯学習センター	
	長野県NPOセンター事務局次長 小林 達也		
3	SDGs 集中講座「カードゲーム 2030SDGs」		20
	10月23日(金)15:00~18:00	トイーゴ生涯学習センター	
	SDGsワークショップデザイナー 藤澤 重徳氏		
4	SDGs 集中講座「SDGsアウトサイドインカードゲーム」		35
	10月23日(金)18:30~21:00	トイーゴ生涯学習センター	
	クリエイティブラボ 岡田 義彦氏		
合計			104

イ 地域内外から活動資金の調達に関する講座

	タイトル/内容		参加人数
	日時	会場	
	講師		
1	レッツトライ! 助成金		16
	9月 5日(土)13:00~15:30	もんぜんぷら座 304 会議室	
	長野県NPOセンター 粟津知佳子氏		

2	会計のいろはシリーズ／会計事務お悩み相談会		3団体 5
	3月20日(土)13:30~16:00	もんぜんぷら座 601 会議室	
	税理士法人成迫会計事務所 北原 正明氏		
合計			21

ウ 活動団体などのコンプライアンスなどに関する講座

	タイトル／内容		参加人数
	日時	会場	
	講師		
1	コミュニティマネジメント いろはのは /With コロナ時代の市民活動・コミュニティ運営の実践		29 内オンライン 15
	1月24日(日)13:00~16:00	もんぜんぷら座 304 会議室	
	NPO法人CRファクトリー代表理事 呉 哲煥氏		
合計			29

エ 情報発信（マスコミ向け、ホームページなど）に関する講座

	タイトル／内容		参加人数
	日時	会場	
	講師		
1	やみつきになる広報ワンツースリー！／楽しくチラシづくり始めよう！		オンライン 7
	5月16日(木)13:30~16:00	市民協働サポートセンター オンライン開催	
	ソーシャルデザインセンター 寺澤順子氏		
2	やみつきになる広報ワンツースリー！／使いたくなる写真の撮り方+SNS活用講座		7 内オンライン4
	6月13日(土)13:30~16:00	市民協働サポートセンター及びオンライン	
	カメラマン 立岡淳志氏		
3	やみつきになる広報ワンツースリー！／動画で自分PRタイム		4
	7月11日(土)13:30~16:00	もんぜんぷら座 304 会議室	
	ソーシャルデザインセンター 寺澤順子氏、カメラマン 立岡淳志氏		
合計			18 内オンライン 11



ファシリテーター養成講座



レッツトライ！助成金



広報講座「やみつきになる広報ワーツスリー！」



SDGs 集中講座

<評価と課題>

ながのまちづくり活動支援事業に関わる支援業務としては、応募事前相談から団体と関わることで関係性を構築し、いくつかの団体は、取材活動や広報でのサポートをした。採択されなかった団体にも他の助成金の案内なども行った。

交流事業「NPOカフェまんまる」では、新たに市民活動にコンタクトが少ない年代の交流会を企画したり、センター以外の会場での開催も試みた。スタッフそれぞれのつながりも駆使しながら新たな協働先を開発できたのではないかと。今後も複数団体をコーディネートして新たな活動を作り出していきたい。まちむら交流会は、七二会地区で活動する「七二会いいとこ発見委員会」との協働での開催を予定したが、コロナ禍で人を集めることに地域側が不安を感じていたことからプログラムを中止せざるを得なかった。

相談件数は、前年比 147.8%の 368 件。継続的に関わる必要がある相談が増えたことが要因かと思われる。スタッフそれぞれが外部との関係づくりをしてきたこともあり、特に企業などからも相談が増加している。企業の社会貢献やSDGsに関連した相談もあり、スタッフが学んでいく必要性

を感じている。相談内容では新型コロナに関連するもの、またコロナ禍での活動や運営に関するものなどもあったことは特徴となっている。個人からの相談については、まずは受け止め、具体的な団体につなぐだけでなく、じっくりとその人のやりたいことを聞き出し、センター主催のサロンや講座・交流会などに参加を促し、そこでつながりを作ってもらうことにも力を入れた。いずれにしても一つの相談には丁寧に時間をかけてコーディネートできるようスタッフのスキルも上げていきたい。

講座について、NPO初歩講座を市民活動全般について学ぶ内容に変更し、タイトルも変えてみた。実際に受講者は法人設立まで視野に入った人はあまりなく、「何かしたい」「ボランティアやNPOについての知識を得たい」という人が多く、ひとりひとりのニーズに対応できるような内容を心がけた。また、新しい挑戦として「ファシリテーター養成講座」を6回シリーズで開催。ファシリテーションラボ信州の河合宗寛さんとの協働事業として破格の講師料で開催することができた。6回すべて受講した人もいて、講座そのものがコミュニティとしての機能を持ったことは予想外の効果。同窓会を定期的に関き、そこから連携や協働が生まれる可能性も見えた。

コロナ禍でオンラインやハイブリッドでの開催にもチャレンジし、スタッフのスキルアップもつながった。また、オンライン開催の利点として市外からの参加があり、茅野市市民活動サポートセンターは連続で参加、来年度河合さんを講師に迎えると聞いている。秋には長野県NPOセンター・ながの協働ねっととの三者主催でSDGs集中講座を開催。特に企業などからの参加が目立ち関心の高さが伺われ、企業がNPOとの協働を視野に入れていることもわかった。これを機に関係を作って行きたい。センターとしては申し込みの受付と当日の運営などを主に担当し、センターの予算を使わずに大きな実績を創れたことも成果だった。

講座・交流会の参加者数について、コロナ禍でもぜんぶら座会議室など会場に人数制限があったがオンラインなどの活用で合計で300人弱をかくほできた。

「まんまるサロン」は、定番となった3種のサロンを定期的に関催。常連で新聞バッグを作る男性がさまざまな団体や企業から依頼をもらって教えに行くなど、個人の活動の広がりが見え、SDGs推進にもつながる動きが出てきている。新聞バッグについては市内の団体からの要望もあり、サロンに来ている人たちが楽しみながら市民活動の一端を担うことにもつながった。また、定年前後の男性のサロンは他団体との連携も始まっており、今後の広がりが期待される。センターを訪れる若者と高齢者などが同じ空間で共存する姿も見られるようになり、多様な人がセンターのまんまるテーブルで出会い、活動に参画するきっかけづくりもできている。

(3) 市民公益活動の促進を図るためのその他の事業など

<事業内容>

- ① 市民公益活動団体の活動資金調達のための物品販売支援
- ② その他
 - ア スタッフ研修
 - イ スタッフ全体ミーティング
 - ウ その他必要な事業

<事業目標>

- ① 市民団体から活動資金調達のための商品展示の要請があった場合、展示スペースを提供し、陳列する。
- ② スタッフのスキルアップ及びスタッフ間の情報を共有。

<事業実績>

- ① 市民公益活動団体の活動資金調達のための物品販売支援
展示スペースの提供／利用団体 24 団体
- ② その他
ア スタッフ研修

期日	内容
6月30日(火)	地域づくり・ボランティア講座第1回
7月1日(水)	災害ボランティアコーディネーション養成講座
8月24日(火)	長野県シニア大学オンラインおしゃべり楽校(オンライン)
8月29日(土)	地域づくり推進オンライン研修
8月29日(土)	まちチャレオンラインセミナー
9月4日(金)	NPO支援センター初任者研修会 2020 1回目(オンライン)
9月16日(水)	NPO支援センター初任者研修会 2020 2回目(オンライン)
9月25日(金)	行政とNPOの対話促進講座第1回(オンライン)
9月27日(日)	ボランティアコーディネーション力検定3級直前講座
10月2日(金)	行政とNPOの対話促進講座第2回(オンライン)
10月6日(火)	SDGs市民カレッジ研修(オンライン)
10月16日(金)	行政とNPOの対話促進講座第3回(オンライン)
10月17日(土)	ソーシャルライター養成塾(オンライン)
10月20日(火)	持続可能な社会づくりに向けた教育の新しい在り方研修
10月27日(火)	地域づくりの支え手入門講座第1回(オンライン)
10月27日(火)	SDGs市民カレッジ研修(オンライン)
11月10日(火)	SDGs市民カレッジ研修(オンライン)
11月17日(火)	SDGs市民カレッジ研修(オンライン)
11月18日(水)	社会貢献ファシリテーター入門講座
11月23日(月)	ファシリテーター入門講座(オンライン)
11月30日(月)	地域づくりの支え手入門講座第3回
12月1日(火)	SDGs市民カレッジ研修(オンライン)
12月14日(月)	地域づくりの支え手入門講座第4回
12月15日(火)	SDGs市民カレッジ研修(オンライン)

12月15日(火)	広報スキルセミナー(オンライン)
12月17日(木)	NPO法人運営セミナー(オンライン)
12月17日(木)	ZOOMスキルセミナー(オンライン)
12月22日(火)	門前まちづくりサロン(オンライン)
1月26日(火)	NPOのための組織評価活用入門(オンライン)
1月30日(土)	SDGs全国フォーラム長野2020(オンライン)
2月3日(水)	ソシオマネジメント講座(オンライン)
2月4日(木)	ソシオマネジメント講座(オンライン)
2月5日(金)	長野県社会福祉協議会講座(オンライン)
2月23日(木)~28日(日)	全国ボランティアコーディネーター研究集会(オンライン)
2月26日(金)	ソーシャルビジネスセミナー(オンライン)
3月4日(木)	SDGs de 地方創生ファシリテーター養成講座(オンライン)
3月9日(火)	地域づくりを担うコーディネーターのためのオンラインサロン

イ スタッフ全体ミーティング

- ◆ 毎月2~3回開催
- ◆ FBメッセージ、チャットワーク、Line を利用し随時連絡事項をスタッフ全員で共有

ウ その他必要な事業

- ◆ 市民活動支援課との定例会議(毎月1回)
- ◆ その他関係団体プロジェクトへの参加
 - ・ もんぜんぷら座運営委員会
 - ・ もんぜんぷら座消防訓練
 - ・ 長野市行政改革推進審議会
 - ・ 生活支援体制整備事業第一層協議体会議
 - ・ 小田切生活支援体制整備協議体小田切和輪話の会
 - ・ 長沼地区支援者会議
 - ・ 長野市災害ボランティア委員会豊野連携会議
 - ・ 令和2年度「ながのまちづくり活動支援事業」中間報告会・予備審査会・審査会
 - ・ 岡学園フォーラム
 - ・ 篠ノ井高校SDGsワークショップサポート
 - ・ 長野清泉女子短期大学「NPO論I」講師
 - ・ 中間支援組織オンライン交流会
 - ・ 長野県長寿社会開発センター佐久地域コーディネーター研修会
 - ・ 小規模多機能自治研修(大岡)
 - ・ 小規模多機能自治研修(戸隠)
 - ・ 芋井地区小規模多機能自治プロジェクト

- ・ つよあたアライアンス会議
- ・ 三陽管内地域福祉ワーカー連絡会議
- ・ NPO法人ライフデザインセンター講座講師
- ・ 飯綱町社会福祉協議会講座講師
- ・ 第一生命株式会社長野支社紙バック講習会
- ・ 信州環境カレッジ交流会
- ・ ちくま未来戦略サロンカードゲームで学ぶSDGs
- ・ 長野県災害時支援ネットフォーラム
- ・ 長野県立大学宮下ゼミ
- ・ コミュニティーフォーラム 2021

◆ 他団体への会議スペース提供

貸出件数 45 件 / 利用人数 172 人

◆ 報道機関からの取材

期日	報道機関	内容
6月9日(火)	読売新聞長野支局	スマイルマスクプロジェクト
6月11日(木)	長野市民新聞	長野市域災害時支援ネットワーク交流会
6月24日(水)	信越放送ラジオ	長野市域災害時支援ネットワーク交流会
7月10日(金)	長野市民新聞	NPOカフェまんまる「定年後は何をする？」
7月14日(土)	信濃毎日新聞	NPOカフェまんまる「定年後は何をする？」
7月13日(金)	信濃毎日新聞	地域まるごとキャンパス
8月17日(月)	長野市民新聞	ステップアップ講座「レッツトライ助成金」
11月2日(月)	信越放送テレビ	ゆる〜いおっさんの会
11月24日(火)	長野市民新聞	寄付の教室®
12月19日(土)	長野市民新聞	寄付の教室®
2月10日(水)	長野市民新聞	地域まんまる with 地域おこし協力隊
2月14日(日)	長野朝日放送・信濃毎日新聞	バレンタインDAYにチョコっと市民活動
3月28日(日)	長野市民新聞	おじさんまんまる

◆ 関係団体からの視察受け入れ

7月9日(木) 松本市民活動センター 3人

◆ スマイルマスクプロジェクト主催

延べ14人から435枚の手作りマスクが集まり必要な機関に配布した。

主な配布先

- ・ 古牧子どもプラザ 100枚
- ・ 地域ささえあいセンター 70枚
- ・ 徳間児童センター 60枚
- ・ 朝陽子どもプラザ 50枚

<評価と課題>

NPOを中心としたネットワーク組織「ながの協働ねっと」の事務局として、各プロジェクトを通して、多種多様な団体・市民が創り出す協働の輪の中でコーディネーターの役割を担っている。一昨年から高校生以上の学生と市民活動とをつなぐプロジェクト『地域まるごとキャンパス』を実施。ながの協働ねっと内外からフィールド募集し、19体から28事業(前年比70%)を採択。101名(前年比48.9%)の学生が実際に各フィールド活動に参加した。活動を通して各団体の活動趣旨に共感し、継続的な活動につながっている学生もいることから、学生の市民活動への理解促進にも一役かうことができたと感じている。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため、第一期の募集については休校などの影響を大きく受けた。また、県立大学を含めた大学は授業再開まで時間を要したことから、高校生の参加者は大きく増えたが、全体の参加者は半減してしまった。

1月に開催した会員交流会「Talk&Talk」では、コロナ禍での活動継続についての意見交換をした。それぞれが工夫しながら継続していたが、どうしても中止せざるを得ない活動もあり、苦慮する姿があった。しかし、参加者の総意は「コロナ禍でも活動を停めてはいけない」というものだった。センターとしてもながの協働ねっとと共に新しい考え方や活動継続のための情報共有をしていきたい。

スタッフの育成では、新人1名に対する研修の機会を増やし、ボランティアコーディネーション力検定3級を取得した。コロナ禍でさまざまな講座がオンライン化し、交通費や参加費を節約できたこともあり予定していたよりも参加機会を確保できた。研修を通してつながった講師や参加者との交流もはじまりつつある。

各プロジェクトへの参加では、昨年度連続開催予定だった小規模多機能自治講座を地域包括ケア推進課が開催することになり、以前から相談などで関心の高かった大岡地区と住民自治協議会第5ブロックの研修をコーディネート。それぞれ現場にもサポートに赴き、今後の関係づくりに努めた。大岡地区からは来年度も継続して小規模多機能自治の取り組みをするのでサポートしてもらいたいとの意向がある。

スタッフ研修については、オンライン受講が可能になり、予定していた交通費をさらに研修費に回すことができ、バラエティに富んだ研修に参加することができた。今後もオンライン・リアルいずれも大切に、他団体や他県の間接支援センターなどとの情報交換につなげていきたい。

コロナ禍での活動として、できるだけ市民活動・市民参加を止めないために企画した「まんまるスマイルマスクプロジェクト」は思いのほか手ごたえを感じることができた。市内各児童センターなどに届けたり、子育て支援団体から「作り方を教えてもらいたい」という相談があり作りてをつないだり、小さな試みではあったが共感の輪が広がる実体験を得た。

2019年東日本台風の被災地支援については、現場とのつながりを切らないために、被災状況の写真展の企画や機関誌・市民新聞の取材などを心がけた。

(4) 施設管理業務

<事業内容>

- ① 利用統計資料の作成

- ② 情報交換スペースの管理
- ③ 備品類の管理

<事業目標>

- ・ 窓口業務における利用者数の増加
- ・ 利用者によるセンターの評価向上
- ・ 利用しやすい演出と情報の鮮度を保つ
- ・ 他の機関とも広くつながりを持つ

<事業実績>

- ① 月末に 利用統計資料を作成し、担当課へ提出している
総利用者数 7,114 人(内センター外 1,039 人)
- ② 市内外の公益活動団体に関するチラシ・広報誌を収集、陳列
 - ・ センター内の2つの円卓は、その存在が認識されてきており、日々の情報交換スペースとして、団体の会議や交流イベントにも頻繁に利用された。
 - ・ 市内NPO法人については設立順・分野別に情報を整備し、内閣府の「NPO法人ポータルサイト」の情報をリンクさせホームページ上で公開
 - ・ 団体別にファイルを作成し、チラシ、団体情報をファイリングしいつでも手に取れるようにしている(市内NPO法人・ながのまちづくり活動支援事業の補助金交付団体については、個別のファイルを維持管理し、新設団体についてはファイルを追加)
- ③ 備品類の管理

<評価と課題>

センター利用者数は 7,114 人（地域まるごとキャンパスに参加した学生 101 人、YouTube 視聴回数 900 は含まず・前年比 104.5%）とコロナ禍にも関わらず増えている。センター外が増えているのはリモートワークで自宅等でメールやメッセージなどで問い合わせを受けることが多かったため。

また、関係団体プロジェクトへの参加は昨年の 77.2%の 78 件。さまざまところで会議が中止に追い込まれたことと、被災地域での会議が住民主体となったことが影響している。しかし、相談内容は住民自治協議会、学校、企業などのかかわりが増え、今後のコーディネーションの幅は広がっている。